

実用新案登録

10

特許予長官殿

1. 考案の名称

2.考

住 附 福岡市西区今宿春木 6 作 肵 内

71 Yı (外 4 名)

3. 実用新案登録出願人 郵便番号 100

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

称(601)三菱電機株式会社

代表者 進藤 ţi

4.代 fil! 人 郵便番号 100

任 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

名(6699)弁理士 (連絡作 (外1名)

5.添付書類の目録

細 Ш

[义]

於

状

1通

1通

1 通

1E 出願審查請求者

H- 6/94. 53 089671

- 1. 考案の名称 いちご収穫事
- 2. 実用新案登録請求の範囲
- (1) 座席前部に荷台を有しかつ座席より低い位置で前車輪より前へ突き出た形で足乗せを備えた動力式いちご収穫車にかいて、上配足乗せを支持部材を介して前後へ援助自在に取付け、前車輪より前へ突き出したり、または引込めたりできるようにしたことを特徴とするいちご収穫車。
- (2) 足乗せをガイドボスに掴動自在に嵌め込んで支持してなる実用新業登録請求の範囲第1項記載のいちご収穫車。
- (8)足乗せを2個のローラー間に挟んだ状態で支持してなる実用新来登録請求の範囲第1項記載のいちご収穫率。
- 3. 考案の詳細な説明

この考案は、軟構を走行できるようにしたいち ごの助力式収穫車において、人が乗車した際に快 連な姿勢で作業が行えるように設けられた足乗せ

に関するものである。

従来、いちごの収穫率としては、第1図及び第2図に示すものがあつた。図において、(1)は収穫率本体(1)の後部に設けられて後率輪(8)を駆動する減速機付モーター、(8)は減速機付モーター(2)に電源を供給するパッテリー、(4)は中央部の座席、(5)は率体前部に設けられて荷箱をのせるための荷台、(7)は前車輪、(8)はこの前車輪(7)から前方へ突き出した状態で座席(4)より低い位置に固定された一対の足乗せである。

とのような構造のいちご収穫率にないて、座席(4)に人が乗車し、駆動用スイッチ(図示せず)を入れて減速機付モーター(2)に通電すると、チークの駆動力は減速機を介して低速高れて収穫率離(6)へ伝えられて収穫率離(6)へ伝えら祭券は半かけ、足は前方に伸ばして足乗せ(8)上に関いた。となり、この状態でいちごの数塔された戦闘での収穫が終了すると、一つの戦機での収穫が終了すると、

軟件に移動して収穫を行うが、この移動するとき も足乗せの位置は、作業がやり易くかつ疲れにく いように、前車輪から前方へ突き出した位置とな つている。

しかしながら、この場合一つの軟溝から次の軟溝へ移動する際、特にビニールハウス内などでは 狭い軟端部で移動しなければならないので、この ときに前方へ突き出た足乗せがビニールハウスを 機成するビニールを破るなどの欠点があつた。

この考案は、上記のような従来のものの欠点を 除去するためになされたもので、収穫作業中は作 業がやり易く疲れない位置に足が乗せられるとと もに、一つの歌講から次の歌講に移動する場合は ビニールハウスを構成するビニールを破ることの ないような足乗せを提供したものである。

以下この考案の一実施例を第8図と第4図によって説明する。図において、(7)は前車輪、(8)は足乗せであり、この足乗せ(8)は前車輪(7)の側板(8)に取付けられたガイドボス(4)に前後へ摺動自在に供合支持されている。

との考案は上記のように構成されているので、 収穫作業は足を足乗せ(8)に乗せではなかで、 とほぼを足乗を選当な位置までもは を登録しているので、 を受けるので、 を受けるのででである。 を変したができる。 ででである。 を手によりをできる。 ででである。 ででである。 でででである。 でででである。 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 でできる。 でできる。

なお、上記実施例では掲動運動を規制する支持 部材としてガイドボス脚を使用したが、この支持 部材は揺動運動を規制するものならどのようなも のでもよく、例えばローラー2個で足乗せをはさ み込んでもよい。

以上のようにこの考案によれば、本体に設けた ガイドボスなどの支持部材を介して足乗せを前後 へ揺動自在に装着したので、収穫作業時は作業が やり易く疲れにくい位置に足を置くことができ、 かつ収穫が終つて軟件から次の軟件に移る場合は 収穫車の全長が短くなつて、ピニールハウスを構成するピニール盤を破ることなく容易に移ること ができ、実用上すぐれた効果を奏する。

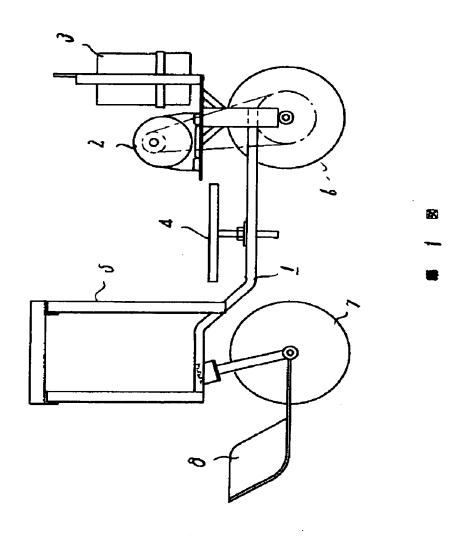
4. 図面の簡単な説明

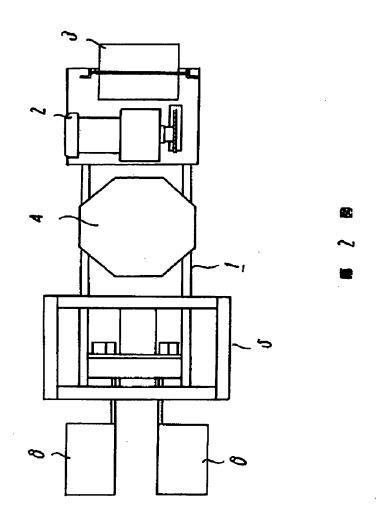
第1図は従来のいちご収穫車を示す側面図、第 2図は同平面図、第8図はこの考案の一実施例を 示す要都側面図、第4図は作用説明図である。

図中、(1)は収穫車本体、(4)は盛席、(5)は荷台、

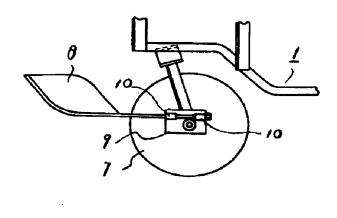
(7)は前車輪、(8)は足乗せ、(4)はガイドボスである。 なお図中同一符号は同一又は相当部分を示す。

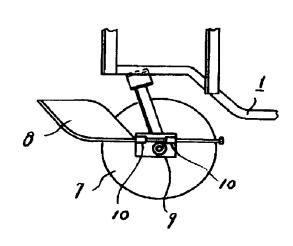
代理人 葛野信 --- (外1名)





6177 3





等 4 图

6177 3

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

代 理 人 郵便番号 100

住 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

三菱電機株式会社内

氏 名(7375)弁理士 大岩増雄

7 · -

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES

GRAY SCALE DOCUMENTS	
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUME	NT

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.